

2019年 第8回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯

【シドニー工科大学語学研修】報告書

教育奨励賞 提供：iae Global Japan 株式会社
浅野高等学校 松田 健志・瀧本 弘夢・中山 大河

この度、このような貴重な機会を与えていただいた、HPDU並びにiaeグローバルジャパンの皆様、そしてUTSシドニー工科大学の皆様にご礼申し上げます。大変恐縮ではございますが、報告書を書かせていただきます。

僕らが参加した、UTS（シドニー工科大学）語学研修は、午前中のUTS INSEARCHでの英語授業、午後のUTSの設備見学や現地学生との交流の2つで構成されていました。

UTS INSEARCHとは、UTSに入るための大学公式の塾のようなものですが、ただ塾と言ってもUTSの1年目カリキュラムを受講できたり、大学と講師を共有していたりと、UTSの4分の1を占める海外からの学生が大学生活に適應するための手段として多く利用しています。

午前中の英語の授業は、日本で受けている授業ではなかなか練習することが出来ない、英語をアウトプットする事に重点が置かれていて、とても貴重なものでした。贅沢にも、僕らのリクエストに合わせて専用の授業をカスタマイズしていただきました。街中で出会う人との会話を想定して会話をするスモールトーク、カジュアルなスピーキング練習から、公共交通機関無料化や原子力発電所についてのディベート練習まで、実践的な英語からディベートのスキルまで多くのことを身に付ける事ができ、とても役に立つ授業でした。また、授業を担当していただいたガブリエル先生のグラマーチェックやシチュエーションに応じたネイティブだから分かるワードチョイス指導もとても有益なものでした。

午後の設備見学や学生との交流もとても貴重なものでした。設備見学では、都市融合型のUTSの十数棟のキャンパスを数日に分けて訪問しました。UTS ビジネススクールやUTSサイエンスラボ、図書館やデータアリーナと呼ばれる施設、どれも設備はもちろん外見も先進的なものでした。特に、データアリーナと呼ばれる施設では、刑事捜査への応用が期待されている、360度の立体映像を利用した最新技術を体験しました。Google Earthを組み合わせて、街を立体的に投影することも可能で、僕らの学校を投影した時には、まるで学校に帰ってきたかのような不思議な感覚を味わいました。

UTS 法学部でのワークショップを通じた、現地学生との交流も有意義なものでした。ワークショップでは、カルチャーショックを疑似体験するゲームなどを行い、「文化」について深い学習をすることができました。現地の学生のテンポについていくのだけでも大変でしたが、日本では経験することのできない貴重な時間を過ごしました。

研修は、一秒一秒充実していて、将来の進路を決めはじめの段階にある僕たちにとって、この研修で得たことは、ディベートにはとどまらず、様々な側面から一生の財産となると思います。

最後に、繰り返しにはなりますが、このような機会を与えていただいた、HPDU並びにIAEの皆様、そしてUTSシドニー工科大学の皆様へ、厚く御礼申し上げます。

